

仙台より9（3月19日）

日本産科婦人科学会
災害対策本部御中

I 人的支援

日本産科婦人科学会の災害対策本部に流したメールで、多くの大学、施設から人的支援のお申し出がありました。本当にありがとうございます。

まずは昭和大学から2名を1週間単位で派遣していただくことになりました。

今日の午後には仙台に到着予定です。

さらに東京大学のDMATチームに産婦人科医を一人、入れていただくことになりました。

昭和大学チーム、東京大学ともに、最も被災人口の多い石巻赤十字病院に駐留いただきます。

1週間後のことは来週木曜日あたりに考えようと思います。

宮城県に関しましては、3月24日の朝に再度、ご相談させていただきます。

II 物資搬入状況

昨晩から各地より大量に産婦人科関連の物資が搬入されてきました。

ご支援ありがとうございます。

産婦人科関連物資は一度東北大学産婦人科に集積し、それを宮城県内の周産期関連施設に配送しています。

必要物品の情報収集、在庫管理、搬入の作業、配送手配（乳業さんやMRさん、教室員の車など）などすべて教室員でやっており、教室全体で倉庫業・運搬業・問屋業の感じになっています。

東北大学 * * *

* * 先生

* * 先生

順天堂大学からの応援は岩手にお願いします。

2名一組で1週間交代。

水食料は持参。

自家用車で行くか、公共の交通手段を使うかは++先生と相談を。

* * 先生の携帯090-* * * *-XXXX

まずは自力で今日中に岩手医大に到着してください。

その後の行動は**先生の指揮下に。

夜は0度以下で、野宿を覚悟。

一部治安の悪化あり。

以上です。

どうぞよろしくお願いします。

* * *

XX先生

昭和大学のチームは石巻赤十字病院で働いてもらいます。

ご存じのように常勤医が通常業務以外の業務で忙殺されておりますので、施設内での分娩や帝王切開、外来を手伝ってまいります。

避難所にも行ってきましたが、そちらは赤十字や各大学からでたDMA Tなどががんばっていますので、そちらに任せたほうが良いと思いました。

ただ、各地域で状況は違うと思いますので、先生の作戦の中で応援部隊を動かしたほうが良いと思います。

日本産科婦人科学会

災害対策本部御中（cc XX 先生、XX 先生）

3月19日13時時点での人的援助要請状況をお知らせします。

今週は以下のお願いをしました。

たくさんの先生から応援の申し出を受けましたが、**のほうでとりあえず以下に決めてしまいました。ご容赦ください。来週以降のことは来週の木曜日ころ、再度、ご相談いたします。

宮城県：

昭和大学より2名を石巻へ

さきほど東北大学に自家用車で到着。

これから出発です。

岩手県：

順天堂大学より2名を盛岡へ

現在、**先生とXX先生（順天堂）の間で調整中。

福島県：

**先生と電話で今日の朝11時ころ話しました。

福島県は特殊な事情のようです。

沿岸から妊婦さんが移動してきますが、逆に県外に避難し始めており、出入りがちょうどトントンになっている、とのこと。今後はおそらく県外への避難が増えて、分娩はどんどん減少していくのではないかと、というのが**教授の推測です。したがって、産婦人科医としての人的派遣については「お申し出は大変ありがたいが、現状では必要なさそう」とのことです。

東北大学

3月19日18:38発信

日産婦学会 災害対策推進本部 御中

各大学からの人的支援を日産婦で一本化していただき、大変助かります。

ありがとうございます。

以下、お願いです。

- 1) 当分の間（数週間くらい？）、岩手チーム（2名）と宮城チーム（2名）の2チームを編成していただければ助かります。
- 2) 岩手チームはまず盛岡まで行って、XX教授の指示に従って活動をお願いします。
- 3) 宮城チームは、石巻赤十字病院に常駐していただきます。
- 4) 各チーム1週間交代が良いのではないかと思います。
1週間の途中で交代の場合、担当大学でつないでいただくと助かります。
- 5) 各チームの交代時の申し送りは、電話やメール等でそれぞれ直接お願いします。
交通手配、気候、食料事情、病院の状況など、刻々と変わりますので・・

以上は、岩手の××教授と東北の***からの共同でのお願いです。
どうぞよろしくお願ひいたします。

岩手医科大学 XXX
東北大学 ****

仙台より10（3月20日）

XXさん

- 1) 食事は原則各自持参。
宿泊は病院内で床の上に寝袋。
平常時の、普通の病院の応援とは全く違います。
- 2) 要員確保と事前打ち合わせ
要員が決まったところで、大学名、名前、卒業年度を以下の先生にメールしてください。

（岩手チーム）

XX先生、
岩手医大の医局長（またはこの件を担当される先生）
現在岩手に派遣されている前の組の先生二人
派遣されている病院の産婦人科長

（石巻チーム）

東北大学 XXX 080-XXXX-XXXX
東北大学の医局長（xx）連絡先
周産母子センター長（xx）連絡先
石巻赤十字病院の産婦人科長（xx）連絡先
現在石巻赤十字病院に派遣されている先生二人（XX先生とxx先生）

具体的な担当を誰にするかは、明日にでもメールします。

XX先生のほうもよろしくお願いします。

3) 交代と申し送り

石巻に関しては、たとえば「毎週土曜日の昼頃に交代」ということにしてはどうでしょうか。

土曜日の朝に仙台を出発し、昼ころ到着。

申し送りをして前の組が午後の早い時間に現地出発。

なお、仙台から石巻は通常であれば車で1時間半です。

岩手については、xx先生からの指示を待ちましょう

4) 交通

盛岡の岩手医大病院、仙台の東北大学病院にたどりついただければ、

後はxx教授と***で責任を持って、現地まで搬送いたします。

5) 日産婦では、先日のメールでお示して頂いたように、「岩手・宮城2名ずつのチームを1週間単位で、支援いただける各大学に順次

出していただく」方式を考えています。その他のリクエストなど、ありましたらご教示ください。

それをお願いします。

原案は以下です。

各大学1週間を受け持つていただく。

2名一組で。

1週間でどのようにやるかは各大学考えていただく。

たとえば、2名が1週間でも良いと思いますし、2泊3日を3-4セットでも良いと思います。

東北大学 * * * *

仙台より11 (3月21日)

各位

I 石巻の街の現状

昨日、再び石巻に行ってきました。

前に行ったときは街中が泥で覆われていましたが、今回はそれが乾き、細かいほこりとなって街をおおっています。

ただし、石巻赤十字病院のあたりは海からかなり離れていますのでそういうことはありません。

II 石巻の産婦人科の診療

市内開業医を回ってきましたが、すべて壊滅的な被害を受けています。

先生方の今後のことは宮城県の産婦人科の先生方とも相談していかなくてはいけないと思います。

石巻赤十字病院内は数日前に比べ、かなり落ち着いてきた感じでした。

昭和大学からの応援の**先生や**先生はお元気でした。

Ⅲ 物資

日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児学会、厚生労働省（成育医療センター）、名古屋大学などから大量の物資が運び込まれました。また福井大学、富山大学をはじめたくさんの先生方から直接物資を届けていただきました。

ありがとうございます。

2日前から大量にもものが運び込まれ、教室を挙げて問屋業をしております。

現状では、産婦人科診療に必要な物資は宮城県内ではほぼ充足した感があります。

Ⅳ 人的支援

日産婦からの各大学1週間の人的支援システムができあがり、たいへん助かっております。

災害としては急性期を乗り切り、これから長い長い復旧の時期に入りつつあると思われま

す。これは岩手県も同じではないかと思いますが、ぜひ長いスパンでのご支援をよろしくお願

東北大学 * * * *